

平成29年度 徳島県立小松島西高等学校 総括評価表

1 学校教育目標

教育基本法・学校教育法等の趣旨に則り、本県教育の基本方針・基本目標に準拠し、誠実で自主・自立の精神と豊かな人間性を持ち、徳島県やわが国及び国際社会の発展に貢献できる人材を育成する。

2 本年度の重点課題

- 1 基礎学力の定着を図るとともに、キャリア教育を推進し、生徒の自己実現の支援を行う。
- 2 基本的生活習慣の確立を図るとともに、家庭・地域・関係機関等と連携し、組織的な生徒指導を行う。
- 3 人権の意義や重要性を認識させるとともに、互いの人格を尊重し、支え合う人間関係を築く能力を養う。
- 4 教職員の意識改革と資質向上を図るとともに、学校の組織力を向上させ、保護者や地域から信頼される学校づくりを行う。

3 自己評価

重点目標		活動計画	評価指標	自己評価
商業科	商業の各分野で必要とされる計算力・集中力を身につけさせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・計算力の向上のため、1年生で年間を通して週1回の補習を実施する。 ・全商珠算・電卓実務検定に積極的に取り組ませる。 ・珠算・電卓競技会に向けて計画的に取り組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生は年間を通して補習の時間を確保する。 ・全商珠算・電卓実務検定の合格率を昨年度より上昇させる。 ・珠算・電卓競技会で四国大会出場を目指す。 	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月曜の7限目に年間を通して実施することができた。 ・2級、3級については昨年度を5～10%上回ることができた。 ・個人の部で珠算・電卓競技会四国大会と全国簿記コンクールに出場した。
食物科	各種検定を活用し、調理師に必要な知識・技術を確実に身につけさせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・専門科目の授業1単位35時間を確保するため3年生で週2回、1・2年生で週1回7時間目の授業を実施する。 ・長期休業中などに各学年で特別授業や集中講義を実施する。 ・授業内容定着のため、小テスト・実技テスト等を実施する。(考査時の専門科目の目標60点) 	<ul style="list-style-type: none"> ・1単位につき35時間の授業時間を確保する。 ・家庭科技術検定(食物調理)の合格率100% ・食育インストラクターの合格率100% ・技術考査の合格率100% ・授業内容定着のため、小テスト・実技テスト等を実施する。 	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・35時間の授業時間を確保できた。 ・家庭科技術検定 100%合格 ・食育インストラクター 100%合格 ・技術考査 97%合格 ・小テスト等で一定の効果が見られた。 ・ミニカフェを年4回実施しのべ500名程度参加いただいた。
生活文化科	各種検定を活用し、アパレルに関する知識・技術を確実に身につけさせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・進度表を活用し、生徒自身に進度状況を確認させるとともに技術の確実な定着・向上を図る。 ・小テスト・実技テストを実施し、知識・技術の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭科技術検定(被服製作) 4・3・2級は、100% ・1級については、85%以上 ・色彩検定については、3級合格率50%以上 	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭科技術検定は2級と1級で昨年度を上回ることができた。 ・4級 100% 3級 74% ・2級 71% 1級 70% ・色彩検定も55%と昨年を上回った。
福祉科	介護福祉士国家試験の合格者を90%以上にする。	<ul style="list-style-type: none"> ・国家試験の出題内容に対応し、かつ授業時間を確保するため各学年毎週2回7時間目を実施する。 ・各学年で長期休業中に集中講義を実施する。 ・学習内容定着を確認するため、3年生を対象に校外模擬試験を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1単位につき35時間の授業時間を確保する。 ・長期休業中の授業時間を確保する。 ・模擬試験の平均点が国家試験の合格基準に到達することができる。 ・介護福祉士国家試験の合格率90%以上 	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・35時間の授業時間を確保できた。 ・長期休業中の時間確保ができた。 ・模擬試験を3年生の7月、9月、11月12月に実施し基準に達する生徒も増加している。 ・合格率は78.1%で昨年より向上
共通	学校生活全般を通じて、基本的な生活習慣や学習習慣の確立を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・全校集会などを通してあいさつや言葉遣い、身だしなみなどについて考える機会を持たせる。 ・毎朝複数教員で登校指導を行い、多遅刻者には学年団や保護者と連携し改善に努める。 ・朝のSHRなどを利用し5分間学習を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回全校集会を実施する。 ・年間遅刻者数を、前年より10%以上減少させる。 ・朝の5分間学習や確認テスト等を年間100回以上実施し、その内容の充実を図る。 	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月全校集会を実施した。 ・遅刻者数は前年より19%減少した。 ・学年統一の内容と学科ごとの内容を曜日で分け各種検定や課題テスト、就職試験対策等も取り入れ年間100回以上実施できた。

4 学校関係者評価(主な意見など)

- ・生徒アンケートで図書館の利用が少ない。貸出冊数は県平均並みだが特定の生徒に偏っている。大学でも論文が書けない。基礎力をつけてほしい。
- ・衣食住がまかなえる小松島西高校の専門性を活かした取り組みをもっとPRすべき。地域や勝浦校との連携、災害時のサポート等を深めてほしい。
- ・職員、生徒、保護者の各アンケートで校則に関する評価の差異に意識のずれが現れていないか。それぞれの認識が近づくように取り組んでほしい。

5 次年度への課題

- ・進学者の半数以上が活用しているAO入試において今後学力の比重が高まる予測もあり読む力、書く力、表現する力や基礎学力の充実を図る手段を構築する。
- ・雪花菜工房、ミニカフェ、藍染め、介護福祉実習など衣食住に関わる各学科の特性を活かし、地域や大学、企業との連携を深める。
- ・学校の特性上、各学科での活動が主になっており、学校全体としての問題点が見えにくくなるので、重点課題の絞り込みと共通認識を持つべき項目を十分に検討する。